

政策分野	005	都市基盤	政策項目	003	上・下水道	施策	001	水道水供給の維持	担当課	上下水道課上下水道グループ
番号	計画事業名							区分	事業開始年度	事業終了年度
122	老朽化した水道管・水道施設を計画的に更新します。							継続	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8) 目標値	後期(R12) 目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動指標	I 塩ビ管の延長 (単位: km)	142	132	125	138	136	136		0%	I 対象塩ビ管の延長
	II 老朽水道施設更新済数 (単位: 件)	165	189	205	172	176	176		93%	II 対象施設数257
成果指標	I 対象塩ビ管の残存率 (単位: %)	100	92	88	97	96	96		0%	I・II更新することにより、安定した水道水を供給することができる
	II 老朽施設の更新率 (単位: %)	64	74	80	67	69	69		93%	

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	I : 工事は、一部発注済みで約2,300mを更新予定 II : 工事は、発注済みで7つの機器を更新予定
施策の分析 (目標達成・未達成に関する要因分析)	活動指標及び成果指標ともに工事が完成していないため、前年度実績と同値となっているが、すでに工事を発注済みであることから、おおむね順調に進んでいる。
課題・問題点	I : 人口減少に伴う有収水量の減少により料金収入の減少傾向が続いているため、財源確保が困難な状況にあり、耐震化率や耐用年数を超えた管路延長の割合は大きく改善していない。 II : 機器等の更新はおおむね順調に進んでいる。しかしながら、浄水施設等の耐震化が課題となっている。

今後の展開・方向性 (国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、重点的・優先的に取り組む施策等)	水道ビジョン・アセットマネジメント及び水道事業経営戦略等に基づき、計画的な更新に努める。なお、課題となっている浄水施設等の耐震化及び老朽管更新については、令和7年度中に策定予定の水道事業経営戦略において検討する。
--	--

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価 (担当課長)	①計画通りに進める 老朽管更新や水道施設更新について総合計画通り進んでいるが、今後においても有収率向上のため一層の努力をお願いする。また財源確保（補助金・交付金）や機器修繕の最大限の努力を実施すること。 なお、令和7年度中に策定予定の水道事業経営戦略において、計画的な管路等の更新や将来的な水道料金の見直しについて慎重に検討すること。
2次評価 (副町長)	※評価対象外
外部評価	※評価対象外
最終評価 (町長)	※評価対象外

政策分野	005	都市基盤	政策項目	003	上・下水道	施策	002	公共下水道の維持	担当課	上下水道課上下水道グループ
番号	計画事業名							区分	事業開始年度	事業終了年度
123	老朽化した下水道施設を計画的に更新します。							継続	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8) 目標値	後期(R12) 目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動指標	I スtockマネジメント計画の見直し（単位：回）		1	1	0	1	0		0%	I 改築実施計画の見直し
成果指標	I 事業進捗率（単位：%）	89	100	100	76.4	58.1	53.4		53.4%	I 事業費割合

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	令和7年3月に策定したストックマネジメント計画及び下水道ビジョン・経営戦略に基づき、社会資本整備総合交付金の交付額の範囲内において事業を実施している。
施策の分析 (目標達成・未達成に関する要因分析)	成果指標の目標達成状況は、事業進捗率53.4%（国費要望額に対する交付額の割合）と低い状況にあり、進捗が遅れが生じている状況にある。
課題・問題点	社会資本整備総合交付金事業の要望額と交付額の差が大きく乖離しているため、機器等の更新が遅れが生じている状況にある。今後も更なる遅れが生じた場合には、単独事業として事業実施の必要性も生じるが、財政的な負担が大きい。

今後の展開・方向性 (国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、重点的・優先的に取り組む施策等)	ストックマネジメント計画及び下水道ビジョン・経営戦略等に基づき、計画的な機器更新に努める。
--	---

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価 (担当課長)	①計画通りに進める 機器等の更新は、令和7年3月に策定したストックマネジメント計画及び下水道ビジョン・経営戦略に基づき実施しているが、今後においても社会資本整備総合交付金事業の要望額と交付額の差が大きくなることが予想されるため、各機器の普段からの点検修繕を的確に行うこと。
2次評価 (副町長)	※評価対象外
外部評価	※評価対象外
最終評価 (町長)	※評価対象外

政策分野	005	都市基盤	政策項目	003	上・下水道	施策	002	公共下水道の維持	担当課	上下水道課上下水道グループ
番号	計画事業名							区分	事業開始年度	事業終了年度
124	個別排水処理施設整備事業を推進します							継続	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8) 目標値	後期(R12) 目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動指標	I 新規設置及び移管基数 (単位: 基)	7	11	11	3	8	0	0%	I 栗山町下水道経営戦略に基づき、年間10基の個別排水処理施設 (合併処理浄化槽) の新規設置及び年間1基の移管を目標とする	
成果指標	I 水洗化率 (単位: %)	48	50	55	55.7	60.0	60.0	120%	I 個別排水処理施設整備事業の推進により、単独浄化槽や汲み取り式便所の個別排水処理施設 (合併処理浄化槽) への転換を図り、水洗化率向上に努める ※現状 (R3) の47.8%はR2実績値	

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	個別排水処理施設 (合併処理浄化槽) を3基工事中である。
施策の分析 (目標達成・未達成に関する要因分析)	活動指標の目標達成状況は、上期の申請件数が5件 (うち3基工事中) で、おおむね順調に進んでいる。 成果指標の目標達成状況は、目標値を上回っており、一定の成果を得られている。
課題・問題点	水洗化率は、令和6年度実績において60.0%と目標値を10.0%上回っており、本事業の目的を徐々に達成できている状況にある。 今後もさらなる普及促進を図るべく、制度周知に努める。

今後の展開・方向性 (国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、重点的・優先的に取り組む施策等)	下水道ビジョン・経営戦略等に基づき、個別排水処理施設事業における水洗化率の向上を目指す。
--	--

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価 (担当課長)	①計画通りに進める 下水道区域外の生活環境改善や水環境保全のため合併浄化槽は欠かせない施設であるため、今後も未利用者に対し制度の周知やPR活動を積極的に行い普及促進に努めること。
2次評価 (副町長)	※評価対象外
外部評価	※評価対象外
最終評価 (町長)	※評価対象外